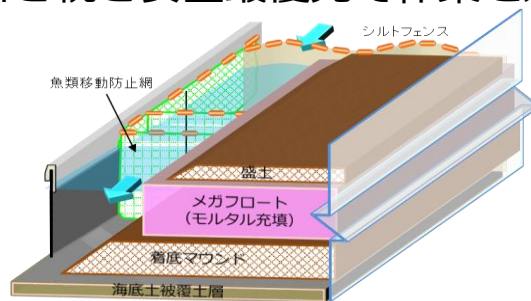


【概要】

- メガフロートについては、震災により発生した5・6号機建屋滞留水を一時貯留するために活用しておりましたが、津波漂流物となり周辺設備を損傷させるリスクがあることから、リスクを早期に低減させ、かつ護岸および物揚場として有効活用できるよう2018年11月12日から工事を進めております。
- その後、メガフロートを移動させて内部を除染し、4月からメガフロート内部へのモルタル充填作業を進めておりましたが、本日（8月3日）モルタル充填作業が完了し、メガフロートが着底したことで、津波※による漂流リスクが無くなりました。
- 2021年度内に護岸および物揚場としての有効活用開始に向け、今後は護岸整備工事や盛土工事を実施し、引き続き安全最優先で作業を進めてまいります。



【港湾内北側で係留されていた様子】
 (2019年2月撮影)



【完成断面図】

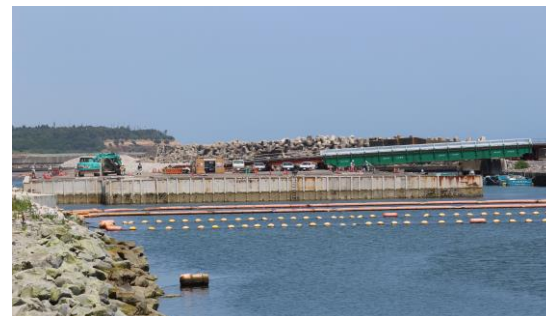
※既往最大津波への備えとして対策を実施しており
 3.11津波を想定し評価したものを。



【メガフロート移動の様子】
 (2019年5月撮影)



【①着底後のメガフロート上の様子】
 (2020年8月3日撮影)



【②着底後のメガフロートの様子】
 (2020年8月3日撮影)

全体概略工程

- 2020年度上期目標の津波リスク低減のための内部充填作業が本日（8月3日）、完了しました。
- 2021年度内の護岸および物揚場として有効活用開始に向け作業を進めてまいります。

